

独占催眠

「私を好きにしていいたいから、
あの娘もめちゃうくちやにしていってー!」

著:田中珠

画:たちまよしかづ

独占催眠

「私を好きにしていから、
あの娘もめちゃくちやにしてー!」



著：田中珠

画：たちまよしかづ

原作：WitchFlame

PB オトナ文庫





「こうしてお隣になったのも、きっと
なにかの縁です。仲よくしましょう」

三雲鈴香

みくもすずか

清楚で明るい女子生徒。
非の打ち所がない美少女だ
がそれゆえに気後れさせて
しまうのか、クラスメイト
からは距離を置かれている。

身長 142cm

B90/W61/H89

誕生日 2月 24 日

男性経験なし

身長 157cm

B76/W59/H77

誕生日 3月 17 日

男性経験なし

淵上冬音

ふちがみふゆね

学期半ばで編入してきた
転校生。並外れた美貌を備
えたクールな少女だが、常
に刺々しい雰囲気をもっ
て他人を遠ざけている。

「あなたに三雲鈴香を犯してほしいの。
報酬として私の身体を好きにしていっていいわ」

5 プロローグ

「こんばんは〜!! 神薙くん! ふふ、今日は来てくれてありがとうございます!」
「ああ、うん。お招きに預かり参上したよ。あいにく手土産はないけどね」
「ううん、いいんです!」ここにきてくれただけで、私もう……ああ、はああん!!」
目の前でクラスメイトの三雲鈴香が、あられもない恰好を披露してくれている。
そのあられもなさ具合は、特級品だ。
制服の上着とブラをめぐり上げ、ブリッジするような姿勢でパンツに包まれた股間を
俺のほうへと突き出し、指先で布地をいやらしく擦っている。
そのたびに豊満すぎるおっぱいがブルルンと揺れて、実に目の毒だ。
ありとあらゆるエロメディアを網羅し、エロの求道者たらんとする俺ではあるが、こ
こまでエロい光景は見たことがない。
「ほらほらあ、見えますか? パンツぐつしより……暗いから見えないかもしれませんね」
「いや、見えるよ。うっすら透けてる……割れ目の形まではっきり見えるよ」

プロローグ

